

# 学校だより

令和3年2月22日

直方市立感田小学校

校長 右田 清二

## 休校になりご心配かけました！

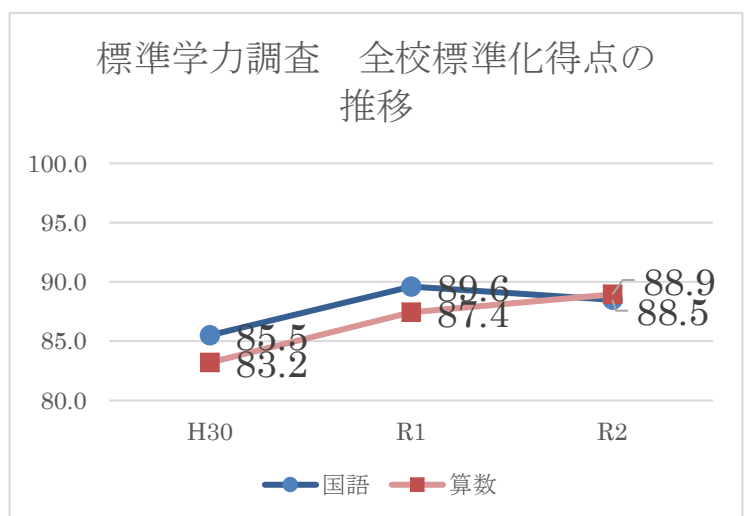
2月9日の夜、児童に陽性反応が確認されたことにより、次の日の水曜日が一斉休校、12日の金曜日は、1年生休校になりました。そして、教育委員会、保健所と協議をし、15日より通常の再開ができるようになりました。再開するにあたって、教育活動（音楽の歌、リコーダー、話し合い活動など）を行わないことやマスク、三密対策、給食の取り方など、今まで以上に厳守することを確認しました。ご家庭の方でも、これまでもマスク、検温、三密、手洗いなど、子どもたちへの実施に対し、ご協力いただいています。今後もどうぞよろしくお願いします。



新型コロナウイルス対策  
推進中 COVID 19  
直方市

## 学力向上の取組について！

昨年の12月に各学年で標準学力調査を行いました。右のグラフは、本校3年間の国語と算数の経年変化（1年～6年をまとめています）です。概要としては、昨年度、国語科と算数科ともに向上しました。本年度は、国語科においては、ほぼ横ばいの状況ですが、算数科においては、向上しています。子どもたちの努力や家庭での取り組みによって、少しずつ成績が向上しています。



しかし、まだ、全国平均に到達していません。この調査を分析し、次の課題を見いだすことが出来ました。

国語科においては、読解力や書く力が十分でないということが分かりました。

この課題を克服するために、週1回、昼の帯学習の中で、作文に取り組んでいきます。条件作文に対応した力をつけるために、初めは今まで学習してきた簡単な条件作文から取りかかり、最終的に、文章から必要な部分を抜き出し、文が作れる力をつけていきます。また同時に、時間を区切って、集中力を高めていきます。

算数科については、図形やデータの活用、変化と関係に関する力が弱いということが分かりました。算数は、少しずつ結果が現れてきましたので、この課題に関しては、現在の取組を継続し、下記の少人数分割授業や複数体制による指導を行い、個別による細やかな指導を行っていきます。

現在、本校では、担任による一斉授業以外に次のような授業形態を行っています。

	少人数分割授業	複数教師による指導	活用問題に挑戦
いつ	年間を通じて算数科の重点とする単元の学習（全学年）	算数科の重点とする単元の時間（低学年）	年間を通じて家庭学習・昼帯学習を活用（高学年）
なにを	重要度の高い単元 内容が難しい単元	重要度の高い単元 内容が難しい単元	全国学力調査の過去問題等
どのように	教室、少人数教室に分かれて 少人数指導を充実	複数の教員が学級に入り 個別指導を充実	担任外で採点、コメントを行い、担任が解き方などの解説を行う

また、家庭学習を定着させるために4月当初に「二中校区学びのきほん」のリーフレットを配付したり、学期に1回の「家庭学習がんばり週間」を設定したりしています。「家庭学習がんばり週間」の取組の結果については、お知らせしていますように、全学年で目標の学習時間を超え、家庭学習の習慣が身に付いてきました。しかし、保護者のアンケートの中に、「学習はしているが、集中していない」「学習時間は確保されてきたが、内容が伴っていない」などの意見がありました。

集中力を高めるためには、①学習する場所を決めること ②何かしながら等、ながら学習をしないこと ③静かな環境で学習することなどが、大切だと言われています。

学習内容については、子ども自身が、分かっていることと分からないことを把握していることが重要です。そのためには、ドリルやワークブックなどの問題を解き、答え合わせをします。そして、×の問題のみ出来るまで学習することです。学習内容は、自分が分かっているかどうか確かめる学習と出来なかった学習内容を出来るまでやる学習になります。これは、健康を維持する方法と同じです。健康診断で悪い個所を見つけ、その個所を治療しなければいけません。学習も十分理解できない部分を見つけ学習をしていかないと学力は上がりません。ご家庭の方でも子どもたちに声をかけてください。